

。設計主旨

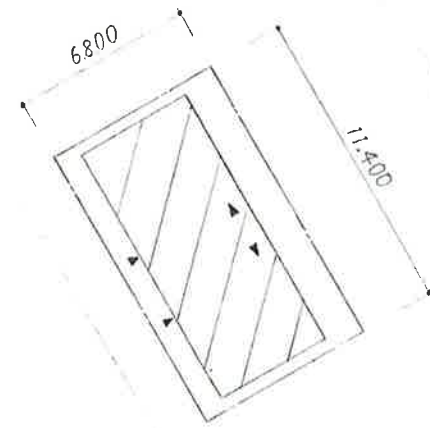
私は、一般的な公衆トイレとは少し違う、金沢らしさと遊び心あふれる設計をしました。

このトイレが建つ長町には、江戸時代気分を楽しめる武家屋敷跡があり、風情ある観光スポットとして、多くの観光客が訪れています。そこでこのトイレにも、武家屋敷らしさを取り入れ、観光客や地元の人にも金沢をより身近に感じられるようにしました。今ではあまり見かけませんが、江戸時代では屋内にも「隠し扉」と呼ばれる、一見扉には見えないが、押すと扉は開いて回る回転扉がありました。最近の金沢では、外国人観光客も多く見受けられるので、遊び心を重視し、2箇所の出入口を隠し扉風回転扉としました。

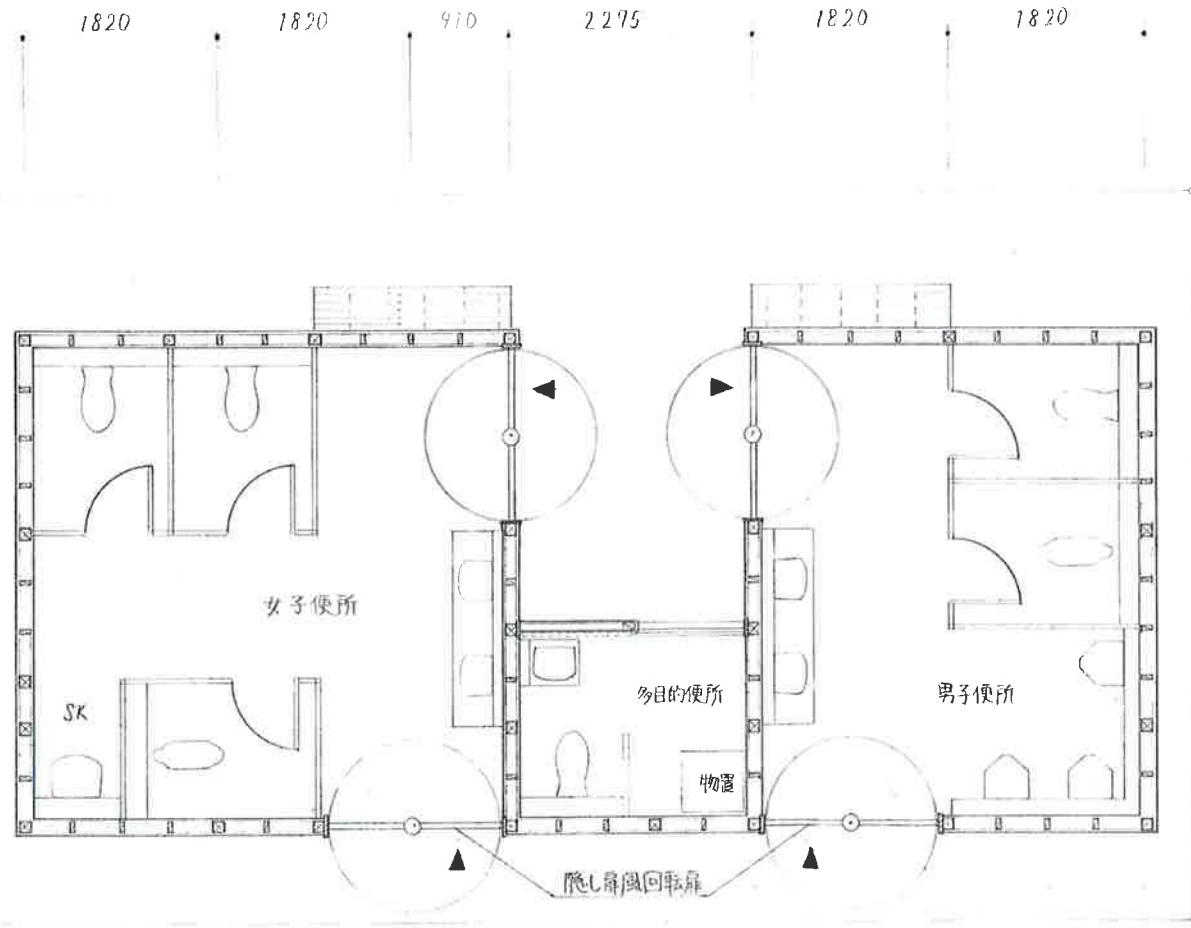
利便性と遊び心を重視した設計をすることで、地元の人はもちろん、観光客、老若男女、誰にでも人気の公衆トイレになるでしょう。これが私の考える金沢らしさと遊び心あふれる公衆トイレです。

。面積表

敷地面積	6.8m x 11.4m	77.52㎡
建築面積	4.55m x 10.465m	47.62㎡
延べ面積	4.55m x 10.465m	47.62㎡
建ぺい率	$(47.62\text{㎡} \div 77.52\text{㎡}) \times 100$	61.43%
容積率	$(47.62\text{㎡} \div 77.52\text{㎡}) \times 100$	61.43%



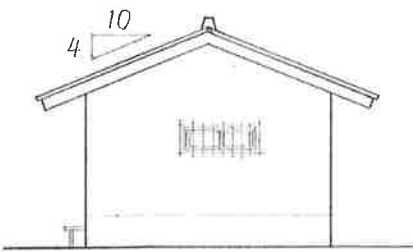
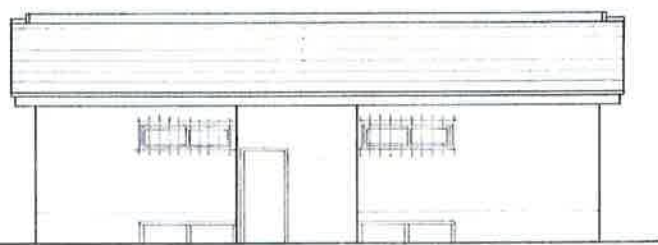
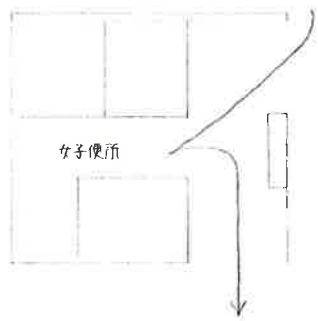
全体配置図 1:200



配置兼1階平面図 1:50

一般の公衆トイレは、利用者の動線が出入口で交差し、スムーズな利用ができませんが、この設計では公園側、道路側の2箇所出入口を設け、利用の流れが一方になるようにしました。こうすることで、入ってくる人と出ていく人の動線の交差をできるだけ少なくでき、スムーズな利用を図ることができます。

公園側には、緑側風のベンチを設け、公園の木々を観察しながら休憩することもできます。



立面図 1:100

